

令和 7 年度

市立大野南中学校 B 棟及び D 棟屋上防水修繕

設計書

相模原市

部 長	課 長	総括副主幹	総括副主幹	検 算	検 算	担 当		
令和 7 年度 市立大野南中学校 B 棟及び D 棟屋上防水修繕 設計書								
修繕価格								
消費税及び地方税相当額								
修繕費								
施設箇所名		市立大野南中学校						
所在地		相模原市南区文京 1 1 0 1						
修 繕 概 要	市立大野南中学校 B 棟及び D 棟の屋上防水修繕 一式 屋上防水修繕：塩ビシート防水 t=2.0(遮熱)による改修							
起 工 理 由					本修繕監督員及び材料検査は 下記の者に定める			課 長
着手年月日		年 月 日		完成年月日		年 月 日		
執行方法		指名競争入札      一般競争入札      随意契約						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

B 棟修繕

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

D棟修繕		防水改修修繕		屋上防水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗い	15MPa	1,572	m <sup>2</sup>			
( PH-1 )						
シート防水 ( 平場 )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 平場 シール材共	38.3	m <sup>2</sup>			
シート防水 ( 立上り )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 立上り シール材共	2.7	m <sup>2</sup>			
珪藻土塗膜防水	X-2 シコトップ 立上り -	10.4	m <sup>2</sup>			
下地調整 ( 立上り )	珪藻土系珪藻土下地調整	10.4	m <sup>2</sup>			
塩ビ被覆鋼板	平鋼板 W=50 -	26	m			
塩ビ被覆鋼板	入隅用 50×50 -	13	m			
塩ビ被覆鋼板	出隅用 50×50程度	13	m			
ドレン廻り鋼板	横引き用 350×350 樹脂珪藻土補修 仮防水等共	1	か所			
改修用横型ドレン 75		1	か所			
脱気筒	平場部 ステンレス製	1	か所			
( PH-2 )						
シート防水 ( 平場 )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 平場 シール材共	47.2	m <sup>2</sup>			
シート防水 ( 立上り )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 立上り シール材共	23	m <sup>2</sup>			
下地調整 ( 立上り )	珪藻土系珪藻土下地調整	23	m <sup>2</sup>			
塩ビ被覆鋼板	入隅用 50×50 -	45.9	m			
塩ビ被覆鋼板	出隅用 50×50程度	22.3	m			
塩ビ被覆鋼板	パラベット端部(水切りタイプ) 70×50程度 ブリアー・シール共	37.1	m			
防水押入金物	アルミ製 シート防水用	4.4	m			

D棟修繕		防水改修修繕		屋上防水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
汎水切り	立上り端部 30×80程度 ﾌﾟﾘﾝﾄﾞｰﾙ・ｼｰﾙ共	4.4	m			
ドレン廻り銅板	横引き用 350×350 樹脂ﾒﾝﾍﾞﾗ補修 仮防水等共	1	か所			
改修用横型ﾄﾞﾚﾝ 75		1	か所			
ドレン廻り銅板	350×350 既存ﾄﾞﾚﾝｰ部撤去 樹脂ﾒﾝﾍﾞﾗ補修 仮防水等共	1	か所			
改修用縦型ﾄﾞﾚﾝ 75	ｽﾚｰﾅｰ(H150以上)	1	か所			
脱気筒	平場部 スﾃﾝﾚｽ製	2	か所			
( 渡り廊下 )						
ｼｰﾄ防水 ( 平場 )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 平場 シｰﾙ材共	31.4	m <sup>2</sup>			
ｼｰﾄ防水 ( 立上り )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 立上り シｰﾙ材共	17.4	m <sup>2</sup>			
下地調整 ( 立上り )	ｶﾞﾁｬ系ﾒﾝﾍﾞﾗ下地調整	17.4	m <sup>2</sup>			
塩ビ被覆銅板	入隅用 50×50 -	25.2	m			
塩ビ被覆銅板	出隅用 50×50程度	25.2	m			
塩ビ被覆銅板	ﾊﾞﾗﾍﾞｯﾄ端部(水切りﾀｲﾌﾟ) 70×50程度 ﾌﾟﾘﾝﾄﾞｰﾙ・ｼｰﾙ共	25.2	m			
ドレン廻り銅板	350×350 既存ﾄﾞﾚﾝｰ部撤去 樹脂ﾒﾝﾍﾞﾗ補修 仮防水等共	2	か所			
改修用縦型ﾄﾞﾚﾝ 75	ｽﾚｰﾅｰ(H150以上)	2	か所			
脱気筒	平場部 スﾃﾝﾚｽ製	1	か所			
( D棟屋上 )						
ｼｰﾄ防水 ( 平場 )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 平場 シｰﾙ材共	1,114	m <sup>2</sup>			
ｼｰﾄ防水 ( 立上り )	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 立上り シｰﾙ材共	282	m <sup>2</sup>			
下地調整 ( 立上り )	ｶﾞﾁｬ系ﾒﾝﾍﾞﾗ下地調整	282	m <sup>2</sup>			

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



## 積込・運搬・処分

[illegible]

[illegible]







## D棟電気設備修繕

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

## D棟機械設備修繕

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

## 相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組みます。

令和2年4月1日

相模原市長

### 【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。